

歴史・文化的まち並み再生補助金 事後評価シート
枚方宿と枚方浜周辺地区

平成24年3月

大阪府 枚方市

様式3-1 評価結果のまとめ

市町村名	枚方市				地区名	枚方宿と枚方浜周辺地区		面積	約21ha				
補助期間	平成21年度～平成23年度	事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	446.9百万円							
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業(細項目) 無電柱化プラン(岡本町地区)、石畳と淡い街灯プラン(上之町1号線、鍵屋資料館ライトアップ)、ましかど美術館創出プラン(展示盤の設置)、駅の顔賑わい創出プラン(枚方市駅構内通路、岡本町2号線、枚方公園駅周辺、枚方公園駅前商店街)、町家情報バンク支援プラン(空家・空地を活用した店舗等への工事費助成)											
	当初計画から削除した事業	事業名(細項目)	無電柱化プラン(新町地区、三矢町地区、堤町地区)			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業	地域創造支援事業(石畳と淡い街灯まちづくり連携PR事業)			本事業の関係者間において、事業目的の達成に向けた広域的PRなどの取り組みを推進するため。			広域的なPRによりイベントへの来場客数や鍵屋資料館への入館者数に影響あり					
2) まちづくり実施計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期
	指標1	イベントへの来場客数	人	3,000	H18	4,000	H23	6,750	評価値	○	あり なし	本事業により整備したエントランス空間による動線の確保と、イベント開催時の交通規制の変更(一部区間車両通行止め)により安全な通行空間が確保できたことが改善に繋がったと考えられる。	平成24年6月10日 平成24年11月11日
	指標2	鍵屋資料館入館者数	人	12,000	H19	15,000	H23	13,500		△	あり なし	今回無電柱化事業の廃止により、地区の来訪者数に影響がでたため、目標値は達成できなかったものの、本事業による広域的なPRや新規店舗数増加により入館者数は一定の増加が見られた。	平成25年4月
	指標3	新規店舗数	店舗	4	H18～H20	10	H23	10		○	あり なし	本事業により協議会のまちづくりに対する意識が向上し、地域の賑わいへの取組み(情報バンク、五六市など)が着実に進められた結果、新規店舗の増加に繋がったと考えられる。	
	指標4	町家等の修景件数	件	19	H14～H20	25	H23	28		○	あり なし	本事業により、地元住民へのまちづくりに対する意識が向上したこと、協議会のまちづくり協定委員会の活動が修景件数の増加に繋がったと考えられる。	
	指標5	アンケート調査(満足度)	%	41.6	H21	47.0	H23	55.5		○	あり なし	本事業による駅から街道までのエントランス空間の整備や新規出店の増加などにより集客が図れたこと、関連事業の公園整備や修景件数の増加などによるまちなみ景観が良くなったことにより、訪れた人の満足度が増加したと考えられる。	平成24年11月11日
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	俳句大会の投句者数	人	379	H20			554				本事業によりまちなみの高質化と菊文化が融合し、地域への愛着や郷土愛が深まり、投句者数への増加に繋がった。	平成24年12月初旬
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	平成23年3月に街づくり協定運営委員会を設置し、枚方宿街づくり協定の約束ごとを実現すべく、建築の際には住民が主体となって外観協議を行うなど、まちなみの形成・誘導に乗り出したことにより、町家等の修景建物以外の建物もまちなみに調和した建物となり、まちなみへの満足度に貢献した。												
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	住民参加プロセス	・枚方宿まちづくりフォーラムの開催 ・事業実施前に住民説明会の開催 ・枚方宿地区まちづくり協議会役員会での事業検討			まちづくり実施計画に記載し、実施できた まちづくり実施計画に記載はなかったが、実施した まちづくり実施計画に記載したが、実施できなかった				今後、整備箇所を活かしたイベントの開催や事業効果を促進する取り組みなどについて地域住民と協働して実施していく。				
	持続的なまちづくり体制の構築	・市域を超えた宿場町との連続性を模索し、事業展開を進める。(京阪JAZZライン) ・枚方宿地区街づくり協定の更新にあたり、地域住民と連携・協働した街なみ形成を進めるための基準づくりについて検討する。			まちづくり実施計画に記載し、実施できた まちづくり実施計画に記載はなかったが、実施した まちづくり実施計画に記載したが、実施できなかった				● 京街道の伏見宿、淀宿、枚方宿、守口宿が連携し、連続性を図るよう促していきたい。 ● 今後も市と協働して街づくり協定運営委員会の取り組みを継続していく。				

様式3-2 地区の概要

枚方宿と枚方浜周辺地区(枚方市) 成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 歴史や自然環境を活用し、広域拠点としての都市的な魅力を付加して、世代間や都市間の交流を促進し、枚方の新たな魅力を創るまちづくり 目標①: 歴史性、自然性、未来性が重なり合い、調和したまちづくり 目標②: 歴史を通じて地域内外の人々が交流する文化のまちづくり 目標③: 住民が愛着と誇りを持って、地域の活性化につなげるまちづくり 目標④: 河川の広がりや万年寺山の緑を生かしたゆとりあるまちづくり		イベントへの来場客数	単位: 人	3,000	H18	4,000	H23	6,750	H23
		鍵屋資料館入館者数	単位: 人	12,000	H19	15,000	H23	13,500	H23
		新規店舗数	単位: 店舗	4	H18~H20	10	H23	10	H23
		町家等の修景件数	単位: 件	19	H14~H20	25	H23	28	H23
		アンケート調査(満足度)	単位: %	41.6	H21	47.0	H23	55.5	H23

～まちづくり創出事業全体計画図～



まちの課題の変化
 ・本事業で整備した無電柱化区間(岡本町地区)は、道路が狭隘で地中埋設物が多く完全中化方式では実施が困難であるため裏引き込み方式との併用により実施したが、一部の電柱・電線が残るため無電柱化指定路線には位置付けられなかった。このことにより、整備された街並みを高度に維持保全するためには、新たな架空配線を抑制するための取り組みが必要となった。
 ・本事業の実施により、地区の景観整備や保全に関する住民の関心が高まり、既存の景観ルールの中に景観協議を進める過程において住民が参画する機会を設けるなど、地区に対する愛着が深まった。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)
 ・今後、街なみ整備を進めるための修景助成事業と合わせ、町家情報バンク支援による新たな店舗の誘致を進めていく。
 ・地域に定着しているイベント(枚方宿ジャズストリート、枚方宿くらわんか五六市等)が拡充して継続できるよう、支援内容を含めて検討し、地域の支援を継続する。
 ・街灯類は、道路舗装と一体的になってまちなみを引き立たせるよう、デザインや設置場所も含め今後も工夫に努めていく。
 ・本事業から削除となった無電柱化区間(三矢町、堤町地区)の無電柱化については、無電柱化実施区間(岡本町地区)での検証を踏まえ、無電柱化手法の再検討や地元同意の取得方法など実施に向けた検討を行う。
 ・本事業で整備した無電柱化区間(岡本町地区)のまちなみを高度に維持保全するため、地域住民や関係機関(電線管理者等)と行政が協力し合える体制を築くとともに、平成26年に策定予定の市景観計画において、枚方宿の街道を景観重要公共施設(無電柱化や電線類の集約化を推進する地区)として指定を検討する。
 ・市域の京街道は、平成24年6月に大阪府景観計画(歴史的街道区域)に指定される予定であり、その中で景観形成の方針(公共・公益施設等も含む)が示されることから、その内容を踏まえ、平成26年に策定予定の市景観計画の景観施策などと合わせて整備内容を検討していく。